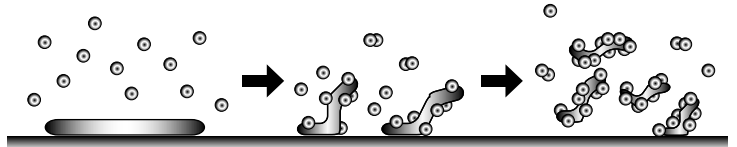


# ビックリーン555の使用法

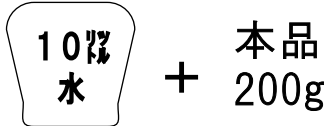
## ■ビックリーン555の除菌洗浄メカニズム■

ビックリーン555は天然ヤシ脂肪酸系表面活性剤と過炭酸塩の有効酸素の作用により、汚れを被洗物より分離させ、有機物（汚れ）の分解・漂白・除菌効果を促します。汚れの再付着を防ぎ、濯ぎ性もよく、節水、節剤と共に環境排水の問題も軽減します。

〈剥離作用イメージ〉



### 2%原液の作り方



※本品を少量のお湯で溶かしてから、水を足すと、よく溶けます。

＜主な用途＞

- 自動車、オートバイの洗浄 ……0.5%
- エンジン、ホイールの洗浄 ……1%
- 車内のシートの洗浄 ……0.2%

ビックリーン555使用量早見表 (単位: グラム)

| 湯量<br>濃度 | 1L  | 5L   | 10L  |
|----------|-----|------|------|
| 0.1%     | 1g  | 5g   | 10g  |
| 0.5%     | 5g  | 25g  | 50g  |
| 1%       | 10g | 50g  | 100g |
| 2%       | 20g | 100g | 200g |

## 除菌洗剤の用途別使用方法

| 用途           | 濃度                 | 用具 | 使用方法  |
|--------------|--------------------|----|---|
| 基準溶液の作成      | 2%<br>10ℓ水<br>200g |    | <p>洗剤基準溶液を作る (1%溶液)</p> <p>ポリタンクに40℃以上のお湯2~10リットルと、洗浄剤粉末200gを入れ、よくかき混ぜて溶解させる。規定量までお湯または水を入れる。</p> <p>コックを下にし所定の位置に設置します。</p> <p>0.1%、0.2%、0.5%溶解は所定メモリまで基準液を入れ湯または水を足す。</p> <p>スプレーは基準液より作るとわかりやすい。</p> |
| 自動車、オートバイの洗浄 | 0.5%<br>基準液の4倍     |    | <p>① 水で洗い流したら、0.5%溶液をスプレーで噴霧し、濡れたタオルで軽く拭き取る。</p> <p>② 再度、水で洗い流し乾いたタオルで、軽く拭き取る。</p>  |
| エンジン、ホイールの洗浄 | 1%<br>基準液の2倍       |    | <p>① 1%溶液をスプレーで噴霧し、ブラシで汚れを落とす。</p> <p>② 水で洗い流す。</p>   |
| 車内のシートの洗浄    | 0.2%<br>基準液の10倍    |    | <p>① 0.2%溶液をスプレーで噴霧する。</p> <p>② 乾いたタオルで、軽く拭き取る。</p>   |
| 工場床、ピット内の洗浄  | 1%<br>基準液の2倍       |    | <p>① 1%溶液をバケツに作り、床全体に撒く。</p> <p>② テッキブラシで汚れを落とす。</p> <p>③ 水で洗い流す。</p>   |
| ショールームの洗浄    | 0.2%<br>基準液の10倍    |    | <p>① 0.2%溶液をスプレーで噴霧する。</p> <p>② タオルで拭く。</p> <p>③ スクイジーで仕上げる。</p>  |
| 一般食器の洗浄      | 0.2%<br>基準液の10倍    |    | <p>① 0.2%溶液に5分間浸す。</p> <p>② 軽くスポンジで汚れを落とす。</p> <p>③ 洗浄機にて湯せん洗浄を行う。(濯ぎ洗い)</p>  |

洗浄液を作成する場合、必ずお湯を使用して下さい。(その後冷えても大丈夫です)。水での作成は溶けにくく洗浄力が著しく低下します。強烈な汚れを取るには、濃度を適度にご利用ください。

内容成分 炭酸塩、過炭酸塩、有機キレート剤、非イオン系界面活性剤(海草とヤシのの実の精油を抽出した天然脂肪酸)  
 使用上の注意 ビックリーン555は酸素系洗剤ですので、塩素系洗剤と混ぜないでください。  
 パール、金、銀、銅、アルミなどの浸け置きは、腐食または黒ずみの原因になりますのでご注意ください。